

みんなの ひろば



※上の黒点は、題字と同じ内容を
点字で表したものです。

主な 内容

- 医療的ケア児等コーディネーター養成研修会 ……2
事業団Ⅱ期職員採用試験案内
共生社会フォーラムin岩手
- 介護技術実習(障害者支援施設やまゆり) ……3
職員提案制度入賞者紹介
業務改善活動入賞施設紹介
- 特集～新ホーム大公開!!～ ……4、5
(和光学園小規模グループケア、みたけの園新グループホーム)
- 余暇支援企画第10弾ニコニコ函館ツアー ……6
復活!もりもりとりで(岩手県立児童館いわて子どもの森)
- びじゅつワークショップ(岩手県立視聴覚障がい者情報センター) ……7
シリーズ時の足跡～未来へつなぐ～
- 最後の合同みたけ夏祭り(みたけ学園、みたけの園) ……8
新採用職員紹介
役員・評議員紹介

第132号

令和元年11月1日
発行

岩手県立視聴覚障がい者情報センター
びじゅつワークショップ
～みる風 触るくうき～



視聴覚障がい者情報センターで聴覚障がい児向けのワークショップを開催しました。
※7ページに関連記事掲載

医療的ケア児等コーディネーター養成研修会

岩手県で初めてとなる医療的ケア児等コーディネーター養成研修会を4日間の日程で開催しました。この研修会は、医療的ケア児等に対する支援が適切に行えるコーディネーターを養成するとともに、支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の関係機関の連携体制を構築することにより、医療的ケア児等の地域生活支援の向上を目的としています。県内の支援体制の充実を図るため、県が主催し、岩手県社会福祉事業団が委託を受け、実施するものです。県内の相談支援専門員、保健師、看護師の他、医療的ケア児等の支援従事者約80人の受講となりました。



看護師による吸引実習

前半2日間は、コーディネーターの資質と役割、医療的ケア児の発達、支援体制の整備等について、医療、福祉、看護様々な視点からの講義。後半2日間は演習として、サービス等利用計画作成のポイントと事例をもとにしたグループディスカッションを中心に、医療機器の説明と看護師によるデモンストレーションも行いました。



医療機器の説明

開催するにあたっては、社会福祉法人なのはな会理事の遠山裕湖氏をはじめ、もりおか障害者自立支援プラザ所長の猿舘寛氏、NPO法人夢の清水博己氏から多数のご助言をいただきました。その他、講師、ファシリテーターの皆さまからも熱心なご指導をいただき大変充実した研修会となりました。皆様に厚くお礼を申し上げます。今後も、コーディネーターの育成と支援

介護技術実習

社会福祉法人桂泉会太陽荘で学んだこと

障害者支援施設やまゆり(二戸町)

7月18日と8月9日に、軽米町にある障害者支援施設「太陽荘」にご協力いただき介護技術実習を行いました。

やまゆりでは利用者の高齢化に伴い身体機能やADLの低下が進んでおり、職員の支援技術の向上は喫緊の課題となっています。そこで、男女各2名ずつの職員が実地研修として施設内の見学や利用者支援の手伝いをさせていただきました。

太陽荘は身体障がい者の方が多く入所しており、拘縮を予防するためのマシンや、車椅子利用者でも入浴がしやすい特殊浴槽等の設備が充実していました。それらの使い方や、利用者一人ひとりに合った食事や排泄の支援方法を学びました。



足を左右に動かす運動マシンを体験しました



全身をほぐすウォーターハットを体験しました

また、理学療法士の方からお話を伺ったり、実際に利用者さんが日々使用しているマシンを体験してみたりと、普段はなかなかできないことも経験することができました。

太陽荘では他にも利用者さんを移乗するためのロボットが導入されていました。施設の特徴に合った機器やロボットの導入は、利用者さんの安全と職員の負担軽減のためにも今後ますます必要となってくると思われます。

今回の実習で学んだことを実践し、様々な観点から更なるサービスの向上に努めていきたいと思えます。

障害者支援施設 やまゆり
生活支援員 上林直士

体制の充実を目指し、更なる学びの機会を提供していきたいと思えます。なお、今年度第2回の研修会を胆江地区で予定しております。

令和元年度医療的ケア児等
コーディネーター養成研修会
【胆江地区】
10月31日・11月10日・12月7日・
12月8日



法人ホームページQRコード

令和元年度Ⅱ期職員採用試験のご案内

令和2年4月1日採用予定の正規職員を募集します。
●試験日：1次試験 令和元年12月3日(火) 13時20分～
●試験会場：いわて県民情報交流センター(アイーナ) 812
●採用予定人数：
総合職区分1(専門学校・短大・大学等、新卒3年以内、25歳未満)～10名程度
総合職区分2(区分1に該当しない、20歳以上45歳未満の方)～若干名
一般職(高校卒業以上かつ20歳以上45歳未満)～若干名
●受付期間：令和元10月15日(火)～11月20日(水)
※詳しくは当法人HPをご覧ください。

「共生社会フォーラム(岩手)開催」

津久井やまゆり園事件をふまえ、昨年度から全国各地でブロックごとに「共生社会フォーラム」を開催しています。(厚生労働省主催)今年度は、北海道・東北ブロックとして当事業団も協力し、岩手での開催となります。ぜひご参加ください。

開催日 令和元年12月19日(木) 20日(金)
開催場所 いわて県民情報交流センター アイーナ

プログラム構成
【全体会】
・表現活動
・基調講演 「いのちに意味がある」
「私たちは何を大切にしてきたのか」
講師 認定特定非営利活動法人 抱撲 奥田知志氏 ほか

【グループワーク研修】
共生社会における語り部等養成研修
第1分科会 定員50名
「福祉支援語り部グループ」(中堅職員)
現場で職員を指導・助言する立場にあり共生社会の基本理念を語り広める「福祉支援語り部」を養成
第2分科会 定員10名
「学生・新任者グループ」
福祉分野に関心を持つ学生や福祉職新入者の方が対象の研修会
お問合せ先
実施者…公益財団法人糸賀一雄記念財団
電話 077-567-1707
FAX 077-567-1708
協力…岩手県社会福祉事業団
電話 019-662-6851
FAX 019-662-8044

平成30年度職員提案制度入賞者紹介

- 【金賞】
○工藤玲子(相談支援事業所「みたけ」)
身体拘束に関する説明は丁寧に
- 【銀賞】
○梅津博史(かたくり)*りんどう
標語をつけよう～ヒューマンエラー防止の一助に～
○高橋久美 齋藤まなみ 療育センター事務局職員一同(療育センター)
「けいざい新聞」を中心とした経費節減の取組みについて
- 【銅賞】
○浅沼浩美(好地荘)
SST活動の充実と普及
○佐々木圭太(好地荘)
「いいね好地荘チューブ体操」DVD作成
○伊藤好宏(やさわの園)*共同生活事業所「じゃんぷ」
利用者支援マニュアルの見直しについて
- *印は現在の所属施設・事業所

平成30年度業務改善活動入賞施設紹介

- 【最優秀賞】
○救護施設 好地荘
「誤嚥予防への取組み」精神障がい者、高齢障がい利用者への安全な食事提供について考える」
- 【優秀賞】
○岩手県立療育センター育成部 重心通所係「かがやき」
「設定活動における五感に働きかける活動プログラムづくり」
○岩手県立視聴覚障がい者情報センター
「情報センターに聞いてみよう!」にたえ隊」
- 【優良賞】
○地域生活支援センター「ひこうせん」
「安心できる生活を送るために」伝わる幸せ」「伝わる幸せ」
○たばしね学園児童デイサービスセンター「はばたき」
「Aさんの支援を通して、自閉症支援について支援力を高めよう」
- 【奨励賞】
○児童養護施設 和光学園
「和光学園の施設機能・養育支援の在り方検討」
○中山の園グループ(入所支援施設)
「身体拘束を考える」～身体拘束解除に向けての取組み～
○障害者支援施設 りんどう
「日中活動の充実 利用者に寄り添う日中活動の実現を目指して」



和光学園

「小規模グループケア
「南青山ホーム」スタート！」

8月下旬より、新ホーム「南青山ホーム（小規模グループケア）」が開設され、児童5名、職員4名の体制で始まりました。平成28年の児童福祉法の一部改正により、子どもが権利の主体であることが明確化され、家庭への養育支援から代替養育までの社会的養育の充実とともに



新築の「南青山ホーム」です！

共同生活事業所 「みたけの園」

「新グループホーム
「松の木ハウス」

8月24日、共同生活事業所「みたけの園」が運営するグループホーム「松の木ハウス」を開所しました。松の木ハウスは、男子棟1階「きじホーム」、2階「はやぶさホーム」、女子棟1階「つぐみホーム」、2階「かなりあホーム」の4つのホームで構成されており、現在男子棟19名、女子棟16名の利用者さんが入居されています。朝夕の食事はクックチル（調理した料理を一旦冷却して保存しておく、提供時間に合わせて再度加熱するもの）を活用し、食事提供を行っています。主に世話人が食事の準備を行っています。入浴は自力で入ることが難しい方については入浴支援員や生活支援員が介助を行っており、その他個々に必要な生活支援を日々提供しています。

松の木ハウスは各フロアに風呂場2箇所、トイレを5〜6箇所設けており、全居室鍵付き、エアコン完備となっております。また、廊下や居間などには手すりがあり、車椅子用トイレも設けています。設備面では、高齢化や障がいのある



リビングは広々としていて、ゆっくり過ごせます

家庭養育優先の理念が規定されました。その後、平成29年8月に発出された新しい社会的養育ビジョンにおいて謳われた施設における養育単位の小規模化の推進を受け、できる限り良好な家庭的環境の中、児童一人ひとりのニーズに応じたケアを実践していくため、現在運営されている「青山ホーム」に加え、今年度8月から新しく1カ所小規模グループケア「南青山ホーム」の運営をスタートしました。

開設にあたっては、小規模グループケアの対象児の検討や運営体制についての話し合いを重ねてきました。新しいホームは、中高生の女

化にも対応できることや、家庭に近い雰囲気となること、大人数での共同生活を送る上で快適であ

特集!

「新ホーム大公開!!!」

当事業団では、児童、障がい、救護等様々な事業所や施設を運営しています。「地域で家庭的な生活をしたい!!」という思いに少しでも応えられるよう本年8月に2つのホームを開設しましたので、入居しているみなさんの様子とともにご紹介します!



新築の松の木ハウスです！

ることなどを意識し、配置や数、素材などを吟味し設定しています。実際の生活場面を見ていると、風呂、トイレなどは快適に使えており、自動センサーの蛇口やエアコンも現在ではほとんどの利用者さんが使いこなしています。居室にエ



一人部屋で勉強もはかどるはず!

子を対象に自立を目指して生活する場所として位置付けており、和光学園を退園してから社会の中で生きていくための生活スキルを在園中に少しでも身に付けてもらいたいという思いのもと開設されました。大舎の施設から一軒家に生活場所を移し、新しい環境に慣れるまで時間はかかるかと思いますが、子どもたちにはぜひ自立を意識してもらって居室の整理整頓や料理のお手伝いなどを積極的にしてもらいたいと思っています。

新ホームの魅力は何と云っても新築で、IHコンロのシステムキッチンやキッチン奥のストックルームも完備されている

エアコンがついていることは皆さん嬉しいようで「私は暑がりだから寝るまで部屋を冷やしておくんだけ？」「夏は暑いからエアコンがあるって嬉しいね？」などと喜びの声が聞かれています。居間は平日、休日問わず、皆で和気あいあいとテレビを観たり、談笑をしたりと笑顔で過ごす場所になっており、広い共有スペースも団らんを楽しむ場となっております。

松の木ハウスが開所し約2ヶ月。個々の環境調整や支援内容の整備などまだまだ



開所式の様子

ことです。また、新ホームの裏には畑もあり、野菜を育てることもできるので、大人も子どもも協力しておいしい野菜を育てられたら...と思っています。大きな家具から食器類などの小物まで、全一からのスタートになるので、職員も不安な気持ちもありますが、試行錯誤しながら、より良い支援をしていけるようにしたいです。

(和光学園
児童指導員 中嶋道子)



畑に植えたメモリアルツリー



IHコンロです!この日の夕飯はカレーです!

だ不十分な点はありますが、支援の中で検討しながらより良い環境で利用者の皆さんが地域生活を送れるよう職員一同力を合わせていきたいと思っています。

(共同生活事業所「みたけの園」
生活支援員 菊池春香)



きれいになった?次、私の番だからね



まったりとテレビ鑑賞中です。



こーんな大きな作品ができちゃった!

6月30日(日)、アイーナ世代間交流室にて聴覚障がい児向け「びじゅつワークショップ」を催しました。このワークショップは、美術を通して様々なコミュニケーション方法を持つ子どもたちが一緒に楽しむきっかけとなることを目的としたものです。県内在住の聴覚障がいがあるお子さん、ご家族を含め30名程の方々が参加され、講師の那須賢

「聴覚部門 文化・学習・レクリエーション事業」 子ども向けびじゅつワークショップ開催! 〜みる風 触る〜

岩手県立視聴覚障がい者情報センター(盛岡市)

輔さん(Prod)と一緒に扇風機とビニール袋を使ってまずは長い「龍」の形を作りました。さらに様々な色や形をした袋をつなぎ、それぞれ個性あふれる作品ができあがりしました。最後にグループ別に発表する子どもたちの嬉しそうな顔が印象的でした。参加されたご家族からは「子どもが楽しかった!と言ってくれた」「親子で一緒に楽しめました!」との感想をいただきました。

次年度も皆と一緒に楽しめる魅力ある内容を企画したいと思えます。今回の企画運営には難聴児と家族の会たんぽぽ会さんにもご協力をいただきました。ありがとうございました。

(岩手県立視聴覚障がい者情報センター 情報支援員 徳江真史)

余暇支援企画第10弾

ニコニコ 函館ツアー

見て! 食べて! 楽しい!

令和元年6月29日(土)~30日(日)の1泊2日で「ニコニコ函館ツアー」を開催しました。

利用者みなさんからの「普段とは違った活動に参加し、楽しく充実した余暇を過ごしたい」という声を受けて実施してきたこの企画も、ついに第10弾となりました。利用者61名、職員・ボランティア25名、総勢86名でいざ北海道函館へ!

1日目は函館山へ。バスが頂上に近づくにつれ、分厚い雲が景色を覆い…。残念ながら絶景はおあずけとなってしまいました。赤レンガ倉庫では買物を楽しみ、参加者の表情には笑顔が溢れていました。

2日目は五稜郭タワーへ。展望台の真下がそのまま見える「シースルーフロア」ではその上に立って、高さ86mの空中散歩を体験しました。

梅雨時期の開催で、お天気にはあまり恵まれませんでした。参加者からは「楽しかった。次の旅行も楽しみにしてるよ」「いっぱいおみやげを買って良かった」等の声が聞かれました。

次回の旅行も楽しみにしててくださいね♪晴れますように…。

(事務局 主事 佐々木史奈子)



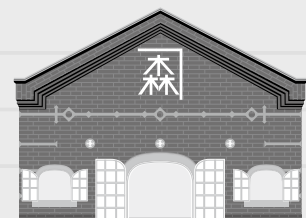
美味しいソフトをみんなでいただきまーす



五稜郭…だけど山頂からの景色はちょっと残念。



曇り空を吹き飛ばす晴れやかな笑顔!



復活!お母さん会

岩手県立児童館いわて子どもの森(二戸町)

森の中に、にぎやかな声が響きます。今年4月、雪害による腐食修理を終えた「もりもりとりで」が4年ぶりに再開しました。

もりもりとりでは網ばしごやターザンロープのある大型の木製アスレチックで、県外からとりでを目的に遊びに来る方もいるくらいの人気ぶり。その魅力たっぷりとえば、秘密基地のようなワクワク感。自然の中で体を思いきり動かす解放感。アスレチックを攻略する達成感。風や虫の声、草花の匂いなど、自然の心地よさを身近に感じられる場所…一言で



垂直の網だってスイスイ登っちゃうよ!



ロープにつかまって一気にビューン!

言うと、楽しい!!昔に比べ、遊ぶ環境も時間も限られた今だからこそ、多くの方にももりもりとりでで遊んでほしい。もりもりとりでの復活は、スタッフにとっても待ち遠しいものでした。

「とりで、どう?」「4回もやって疲れた!」。息を弾ませながらもまたとりでに向かう男の子の姿を、嬉しそうに見守る家族。その光景に、スタッフの心もほっこり。みなさんも、ぜひ遊びに来てください。

(岩手県立児童館いわて子どもの森 主事 菊池未来子)

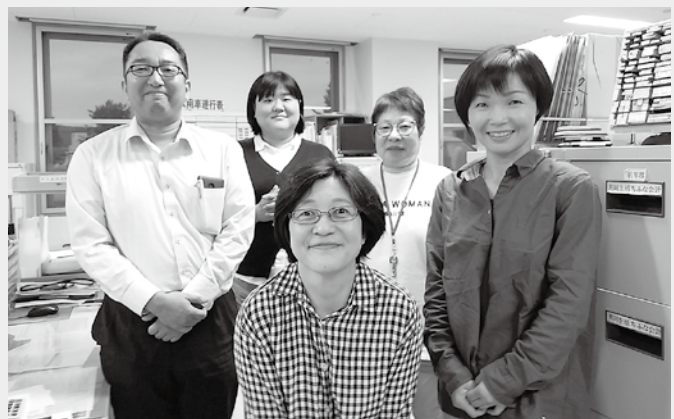
「シリーズ」時の足跡

〜未来へつなぐ〜



私たちが採用された年は、岩手県社会福祉事業団創立二十周年を迎えた年でありました。多くの諸先輩方の皆様のご尽力により、こんにちがあることを知り、その歴史を創られてこられた皆様に思いを馳せ、身の引き締まる思いでした。あれから二十数年…現在、自分が採用された年以降に生まれた職員とともに働いていることを思うと、時の流れの早さを感じるとともに、あの頃の初心を思い返し、気持ちを新たにしているところです。

振り返りますと、その時々業務や支援の難しさに直面し、悩みながら歩んだ日々でもありましたが、迷った時は必ず自分たちの職務の基本に立ち返りながら、ひたすら向き合ってきたように思います。また、その中で、この業務に長年携わることができたのは、勤務する先々で職員や地域の皆様に恵まれ、ご指導ご支援をいただき育てていただいたこと、利用者の皆様との出会いや思い出、充実感ある月日を重ねる中で、たくさんの笑顔や喜びに触れてこられたこと、多くの「人」に支えられ今があるのだと改めて感じています。



庶務の皆さまとともに

現在も、未熟さを痛感する日々ではありますが、利用者の皆様に安心安全に過ごしていただけるよう今後も努めていくとともに、自覚と責任を持ち、誠実な対応を心がけ、微力ではありますが、これまで培ってきた経験や知識にプラスの思いをのせて、自分も伝えていけたらと思っています。

(松山荘 副施設長 菅原いく子)

平成3年4月1日採用

最後の合同みたけ夏まつり

みたけ学園・みたけの園（滝沢市）

令和元年7月7日七夕の日に、みたけグループ合同で行う「みたけ夏まつり」が開催されました。時代は令和になりましたが、昭和から続いた合同で行う夏まつりは、来年度の二部手代森移転で施設が分かれることから今回で最後となりました。今年度は長年ステージ発表に出演していただいた出演団体の表彰から始まり、最後はみたけ学園かえで寮利用者と小田島園長のデュエットで幕を閉じ、大いに盛り上がりました。長年ご協力くださった地域の皆様、出演団体・出店団体の皆様、保護者の皆様、ボランティアの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

（みたけ学園 業務係長 菊池彩子）



トリオで北島三郎の「まつり」を熱唱中!!



ステージ観賞中!暑いけど、楽しい~!!



頭がキーンとする!でも最高~!!



次は何食べようかなあ~、早く行こう!



令和元年度 新採用職員紹介

令和元年
5月1日採用



岩手県立療育センター
作業療法士
山本 美季

皆さんを笑顔にする作業療法士を目指します。

令和元年
5月1日採用



岩手県立療育センター
看護師
藤館 夏奈

子どもに向き合い丁寧な援助をしていきたい。



浴衣、似合うでしょ!



役員・評議員のご紹介

(令和元年11月1日現在)

理事及び監事

- | | |
|-------------|--------|
| 理 事 長 | 佐々木 信 |
| 常務理事兼事務局長 | 鈴木 豊 |
| 常務理事兼中山の園所長 | 伊藤 信一 |
| 理 事 | 小田島 守 |
| 理 事 | 齋藤 昭彦 |
| 理 事 | 鈴木 美津子 |
| 理 事 | 鈴木 都美子 |
| 監 事 | 古内 保之 |

※役職ごと五十音順

評議員

- | | | | | | | | |
|------|-------|------|------|------|------|-------|-------|
| 伊藤 昇 | 久保田 博 | 千田 光 | 野原 勝 | 橋本 隆 | 米田 良 | 三上 邦彦 | 吉江 暢洋 |
|------|-------|------|------|------|------|-------|-------|

※五十音順